



J613-M0690-00 Rev.B 050912

IP電話機
CentreCOM® **CP100TX**
ユーザーマニュアル

このたびは、CP100TXをお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

- 本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本書は製品とともに保管してください。

安全のために



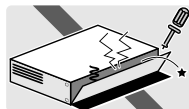
必ずお守りください



警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物

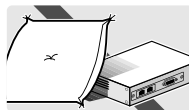
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所注意

表示以外の電圧では使用しない

火災や感電の原因となります。

専用(別売)の電源アダプターは、AC100 - 240V で動作します。

電源アダプターに付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。

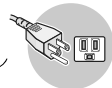


電圧注意

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する

不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。

接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。



3ピンコンセント

専用の電源アダプター以外使用しない

火災や感電の原因となります。

専用(別売)の電源アダプターは、AC100 - 240V で動作します。

電源アダプターに付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。



専用品
を使え

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



プラグを
抜け

ケーブルを傷つけない

特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。

ケーブルやプラグの取扱上の注意：

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュースなどを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り扱いをたいていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因となります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤
使用



強く絞る
使用

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）







シンナー
類不可

本書の読み方

表記規則

アイコン

このマニュアルで使用しているアイコンには、次のような意味があります。

アイコン		意味
 ヒント	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
 注意	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
 警告	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
 参照	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

製品名の表記

単に「本製品」と表記してある場合は、CentreCOM CP100TX を意味します。
場合によっては、CP100TX のように製品の略称で記載します。

文章中の特殊文字

文章中の四角囲みの数字はダイヤルボタンを意味します。

(例) 1 →ダイヤルボタンの1

目次

安全のために	2
本書の読み方	4
表記規則	4
目次	5
1. 箱の中身を確認する	7
2. 各部の名称とはたらき	8
前面	8
背面	12
3. 設置の準備	13
設置するときの注意	13
接続ケーブルを用意する	13
4. 設置	14
フットスタンドを取り付ける	14
受話器を取り付ける	15
5. 壁面への取り付け	16
壁面へ取り付けるときの注意	16
本体を壁面設置可能な状態にする	17
6. UTPケーブルを接続する	19
7. 電話をかける	20
基本的な電話のかけ方	20
ハンズフリーで電話をかける	20
リダイヤルボタンで電話をかける	20
ワンタッチダイヤルボタンで電話をかける	21
電話帳のリストを使って電話をかける	21
履歴を使って電話をかける	22
8. 電話をうける	23
基本的な電話のうけ方	23
ハンズフリーで電話をうける	23
9. 通話中にできること	24
通話を保留する	24
自分の声だけ消音する	24

目次

通話中に別の着信電話に応答する(コールウェイティング) ..	24
転送する	25
10. 音を調節する	26
音量調整	26
着信音設定	26
11. 電話帳を使う	27
入力機能を使う	27
電話帳に登録する(最大20件)	28
電話帳に登録した番号を削除する	29
電話帳に登録した番号をすべて削除する	29
12. ワンタッチダイヤルボタンを使う	30
ワンタッチダイヤルボタンに登録する(M1~M10)	30
ワンタッチダイヤルボタンに登録した番号を削除する	31
13. ダイヤルボタンの入力規則	32
登録画面の1行目に入力する	32
登録画面の2行目に入力する	33
表示言語が英語の場合	33
14. ACアダプター(別売)を使う	34
15. 仕様	36

1. 箱の中身を確認める

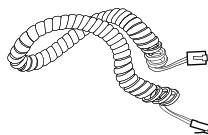
最初に箱の中身を確認して下さい。



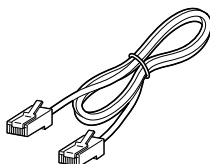
CP100TX 本体 1台



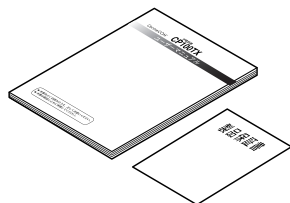
受話器 1台



受話器コード 1本



UTPケーブル 1本
(1.8m)



ユーザーマニュアル(本書) 1冊
 製品保証書 1枚



シリアル番号シール 2枚



フットスタンド 1個

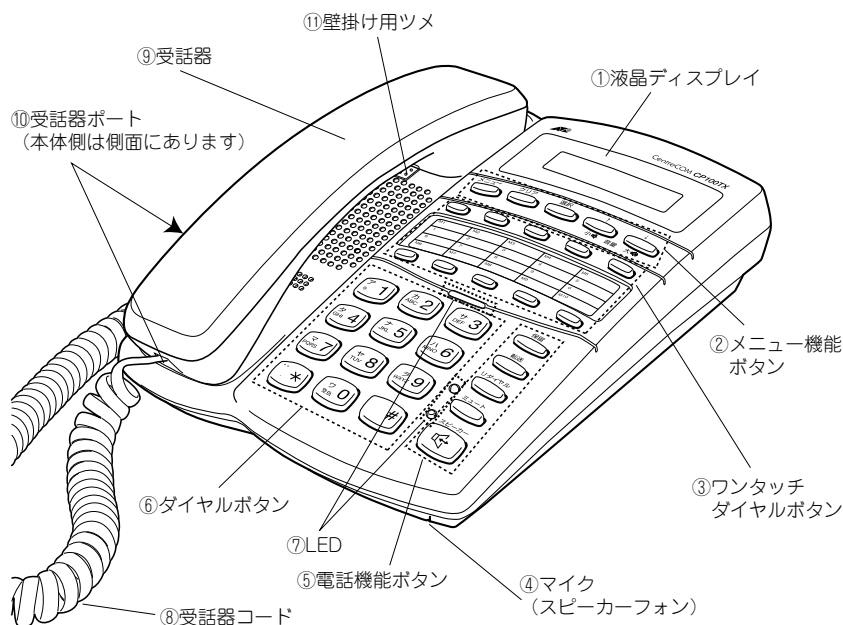


ダストカバー 1個

本製品を移送する場合には、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包することが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管してください。

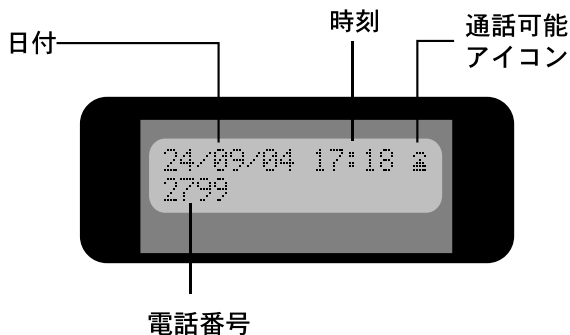
2. 各部の名称とはたらき

前面

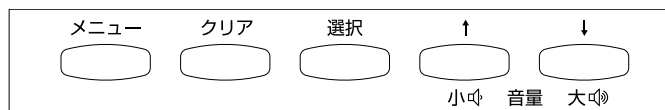


① 液晶ディスプレイ (16桁×2行)

日付、時刻、電話番号、回線または通話の状態、メニュー項目の選択肢などが表示されます。



② メニュー機能ボタン



メニューボタン

通話モードからメニューモードに切り替える時に押します。メニューモードでは前画面に戻る時に押します。

クリアボタン

入力した文字を左側へ1つつつ消去します。

選択ボタン

選択した項目を決定するときに押します。

音量調整(小)/上移動ボタン

音量を下げるために1回ずつ押します。

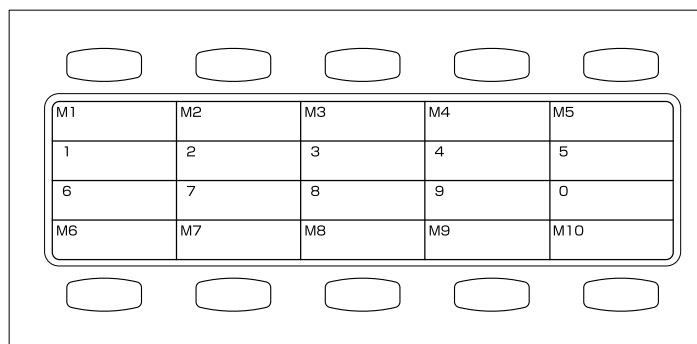
▲カーソルが表示されたときに、上方向へ画面を移動します。

音量調整(大)/下移動ボタン

音量を上げるために1回ずつ押します。

▼カーソルが表示されたときに、下方向へ画面を移動します。

③ ワンタッチダイヤルボタン



10件の電話番号を登録できます。

2. 各部の名称とはたらき

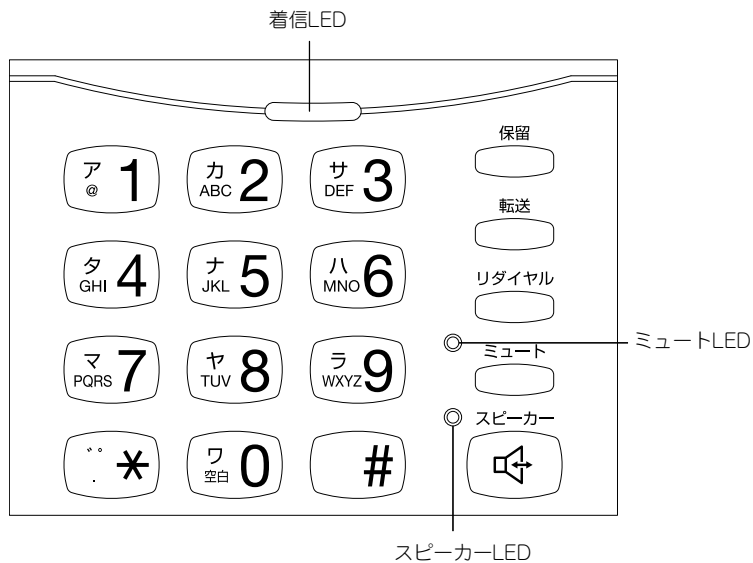
④ マイク(スピーカーフォン)

スピーカーフォン機能がオンの時、声を拾います。

⑤ 電話機能ボタン

⑥ ダイヤルボタン

⑦ LED



保留ボタン

1回押して通話を保留します。保留状態でもう一度押すと復帰します。

転送ボタン

通話を転送します。

リダイヤルボタン

最後に発信した電話番号に発信します。

ミュートボタン

消音機能のオン/オフを切り替えます。

スピーカーボタン

スピーカーフォン機能のオン/オフを切り替えます。

ダイヤルボタン(0～9、*、#)

数字や文字を入力するのに使用します。

着信LED

着信時に橙色で点滅します。

ミュートLED

消音機能がオンの時赤点灯し、オフの時消灯します。

スピーカーLED

スピーカーフォン機能がオンの時緑点灯し、オフの時消灯します。

⑧ 受話器コード

受話器と本体をつなぎます。

⑨ 受話器

受話器コードで本体とつなぎます。

⑩ 受話器ポート(受話器側×1、本体側×1)

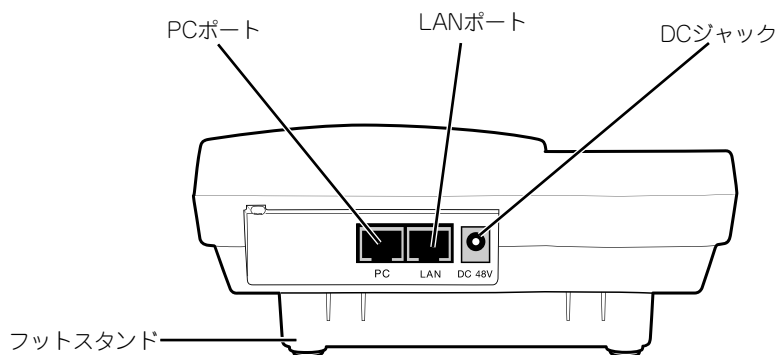
受話器コードを差し込みます。

⑪ 壁掛け用ツメ

壁掛けにする際に一旦はずして、上下逆にして差し込みます。

2. 各部の名称とはたらき

背面



*受話器をはずした状態です。

PCポート

UTPケーブルの一端を差し込み、もう一端をコンピューターに接続します。

LANポート

UTPケーブルの一端を差し込み、もう一端をネットワーク機器に接続します。

DCジャック

オプション（別売）のACアダプター AT-PWR01-ADPを使用する場合に、DCプラグを差し込みます。

フットスタンド

本製品を設置するときに使用するスタンドです。

3. 設置の準備

設置するときの注意

本製品を設置し始める前に、必ず2ページの「安全のために」をよくお読みください。設置場所については、下記にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- テレビ、ラジオ、無線機、携帯電話などのそばに設置しないでください。
- ケーブルに無理な力が加わるような配置はさけてください。
- 本製品は屋外では使用できません。



注意

設置に関しては、設置業者または管理者の指示に従ってください。

接続ケーブルを用意する

本製品は下記UTPケーブルを同梱しています。

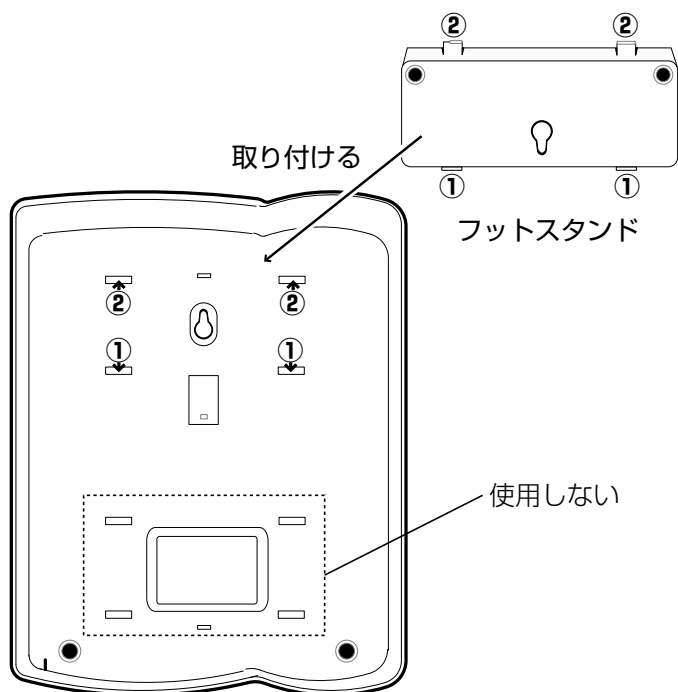
ケーブルの種類：UTP カテゴリー5ストレートケーブル（長さ：1.8m） 1本

別途ご用意いただく場合は、下記条件を満たすものをご用意ください。
すべてのケーブルが機器間を接続するために適切な長さであることを確認してください。

	ケーブルの種類	ケーブルの最長距離
10BASE-T	UTPケーブル カテゴリー3以上	100m
100BASE-TX	UTPケーブル カテゴリー5以上	100m

4. 設置

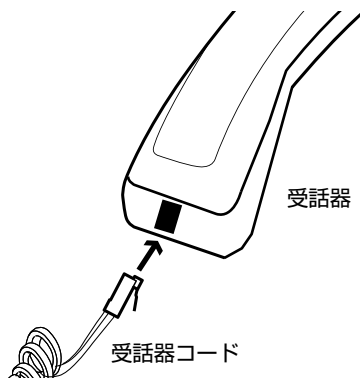
フットスタンドを取り付ける



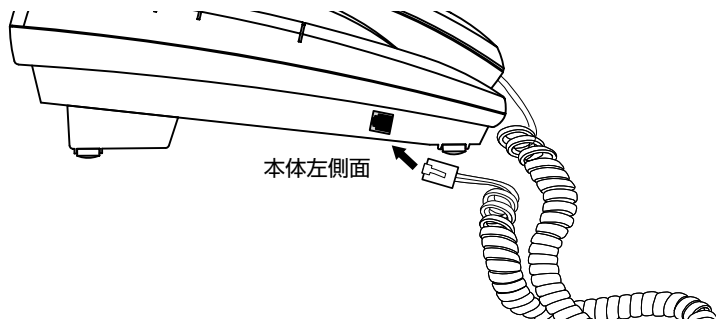
付属のフットスタンドを、①、②の順にカチッと音がするまで本体の裏面の差し込み口にしっかりと差し込みます。

受話器を取り付ける

1. 受話器と受話器コードを接続します。



2. 受話器コードのもう一方を、本体側面の受話器ポートに接続します。



5. 壁面への取り付け

本製品は壁面に取り付けてもご使用いただけます。このマニュアルでは、壁面に取り付けるための準備について説明します。

壁面へ取り付けるときの注意

- 高所に取り付ける際には、特に注意して、確実に壁に固定してください。固定が不十分な場合、落下によるけがや、本製品が破損するおそれがあります。
- 取り付け面の状態によっては、十分な取り付け強度を得られないことがあります。機器およびケーブルの重みによって本製品が落下しないよう、確実に取り付け・設置をおこなってください。けがや本製品の破損の原因になることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所には設置しないでください。落下によるけがや、本製品の故障の原因になることがあります。
- 取り付け面によっては、本製品設置の際に、被着面の塗装などに傷が付く場合があります。



注意

壁面の構造に合わせて、適切な壁面への取り付け工事をおこなってください。不適切な工事をおこなった場合、落下の原因となり危険です。専門の知識を持った工事業者に依頼することをお勧めいたします。

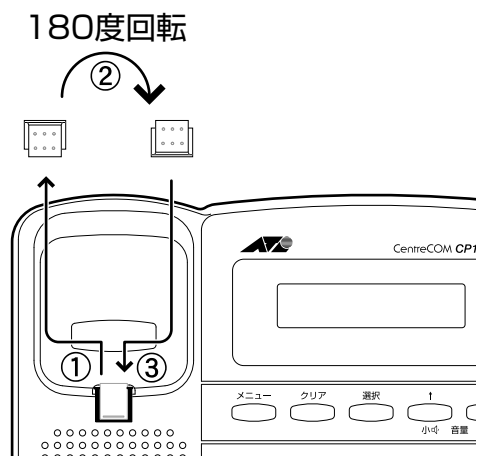


注意

本製品には設置に必要な木ネジ(2つ)は同梱していません。別途ご用意ください。

本体を壁面設置可能な状態にする

壁面に取り付けた時、受話器が落ちないようにするために、次のように壁掛け用ツメを付けかえます。

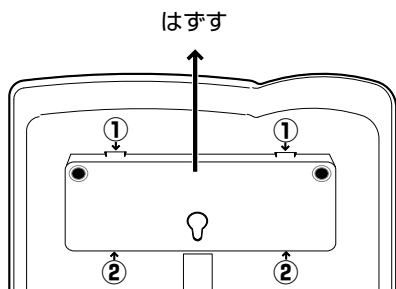


1. 本体前面にある壁掛け用ツメを本体からはずします。
2. 壁掛け用ツメを上下180度回転させます。
3. 本体の同じ場所に、カチッと音がするまでしっかり差し込みます。

5. 壁面への取り付け

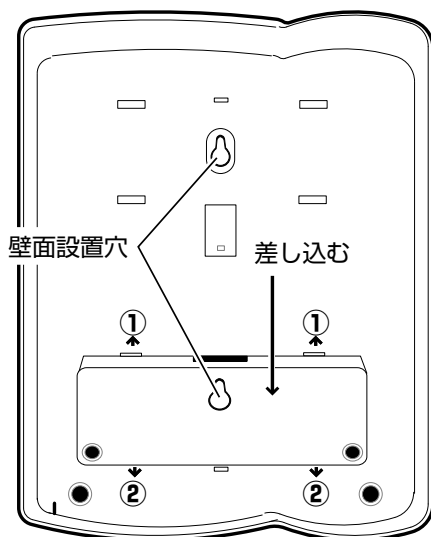
壁面に取り付けた時、ダイヤルボタン等を押しやすいように、次のようにフットスタンドを付けかえます。

1. 本体裏面に取り付けてあったフットスタンドを、①、②の順番で取り外します。



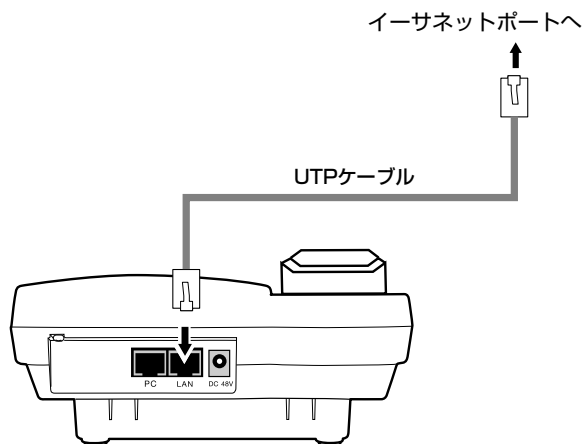
2. フットスタンドの向きを上下180度回転させます。

3. フットスタンドを①、②の順にカチッと音がするまで本体の裏面下部の差し込み口にしっかりと差し込みます。



6. UTP ケーブルを接続する

1. 本製品背面にある LAN ポートと、イーサネットポートを UTP ケーブルで接続します。

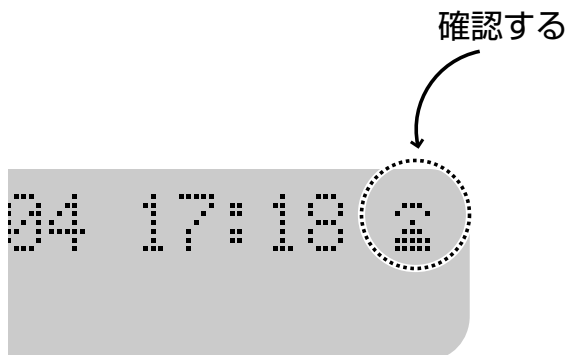


本製品は、IEEE802.3af Power Over Ethernet に準拠した受電機器です。

接続するイーサネットポートが IEEE802.3af Power Over Ethernet に対応していれば、UTP ケーブルを介して受電することができます。

対応していない場合は、オプション(別売)の AC アダプター (AT-PWR01-ADP) を使用します。接続方法は、34 ページ「14.AC アダプター (別売) を使う」をご覧ください。

2. 本製品の液晶ディスプレイの右上に、通話可能アイコンが表示されていることをご確認ください。



7. 電話をかける

基本的な電話のかけ方



受話器を
あげる



電話番号を
入力する



通話する



受話器を
戻す

ハンズフリーで電話をかける



スピーカー
ボタンを押す



電話番号を
入力する



ハンズフリー
で通話する



もう一度
スピーカー
ボタンを押す

リダイヤルボタンで電話をかける

リダイヤルボタンを押すと、最後に発信した電話番号へ発信します。下図は受話器をあげて電話をするときの例です。ハンズフリーでも発信できます。また、先にリダイヤルボタンを押しても発信できます。



受話器を
あげる



リダイヤルボタン
を押す



通話する



受話器を
戻す

ワンタッチダイヤルボタンで電話をかける

登録済みのワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録した電話番号へ発信します。下図は受話器をあげて電話をするときの例です。ハンズフリーでも発信できます。また、先にワンタッチボタンを押しても発信できます。ワンタッチダイヤルボタンは[M1]～[M10]の10個です。



受話器を
あげる



登録済みの
ワンタッチダイヤル
ボタンを押す



通話する



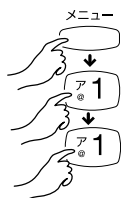
受話器を
戻す

電話帳のリストを使って電話をかける

電話帳のリストを利用して発信することができます。下図は受話器をあげた後、発信をするときの例です。ハンズフリーでも発信できます。下の図で受話器を上げないで、選択ボタンを2度押した時は、自動的にスピーカーフォン機能がオンになって発信します。



受話器を
あげる



電話帳のリスト
を表示する



相手の名前が
表示されるまで
押し



発信する



通話する

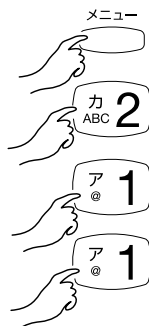


受話器を
戻す

7. 電話をかける

履歴を使って電話をかける

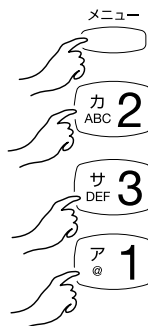
履歴のリストを表示して、その画面から発信することができます。履歴には、不在着信履歴、発信履歴、着信履歴があります。それぞれ最大8件まで表示されます。8件を越えると古いものから自動的に削除します。それぞれの履歴のリストの表示方法を説明します。



不在着信履歴を表示する



着信履歴を表示する



発信履歴を表示する

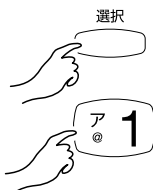
下図は受話器をあげて発信をするときの例です。ハンズフリーでも発信できます。下の図で受話器を上げないで、選択ボタンと[1]を押しても、自動的にスピーカーフォン機能がオンになって発信します。



受話器をあげる



履歴のリストで相手の名前を表示させる



発信する



通話する



受話器を戻す

8. 電話をうける

基本的な電話のうけ方



電話が鳴る



受話器を
あげる



通話する



受話器を
戻す

ハンズフリーで電話をうける



電話が鳴る



スピーカー
ボタンを押す



ハンズフリー
で通話する



もう一度
スピーカー
ボタンを押す

9. 通話中にできること

通話を保留する



通話中に



保留を押すと、
お互いの声が
聞こえなくなる

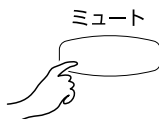


再度保留を押すと、
元の通話に戻る

自分の声だけ消音する



通話中に



ミュートを押すと、
こちらの声が
聞こえなくなるが、
相手の声は聞こえる



再度ミュートを押すと、
元の通話に戻る

通話中に別の着信電話に応答する(コールウェイティング)

通話中に別の相手から着信があったときに、現在の通話をいったん保留して、別の電話に応答します。



通話中に
割り込み音
が聞こえる

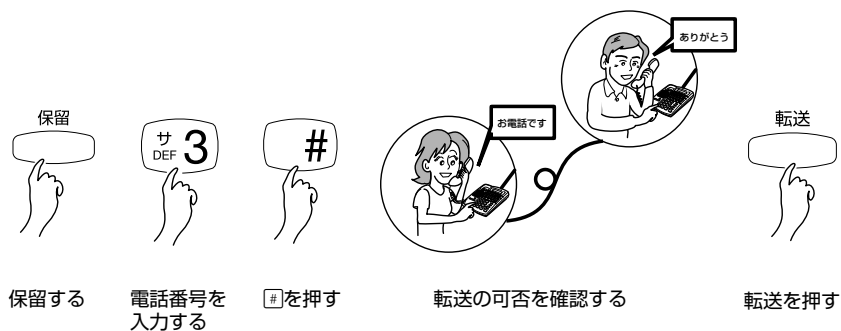



保留を押すと、現在の通話を保留して
別の相手との通話が始まる



再度保留を押すと、
元の通話に戻る

転送する



 転送をしないとき（呼び出しているが転送相手が出ない場合、転送相手が話し中の場合、転送相手が転送を拒否して電話を切った場合）は、保留ボタンを押して元の相手との通話に戻ります。

10. 音を調節する

音量調整

着信音量、受話器音量、スピーカー音量を調整します。

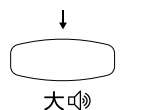
着信音量調整は、待受中または呼出音が鳴っているときに行います。

受話器音量調整は、受話器を上げた状態または通話中に行います。

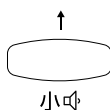
スピーカー音量調整は、スピーカーフォン機能利用時に行います。

音量は 16 段階に調整できます。

調整中は調整の度合いが液晶ディスプレイに表示されます。



音量を上げるとき、
1回づつ押す



音量を下げるとき、
1回づつ押す

着信音設定

着信音は 13 種類のリストの中から選択することができます。

着信音のリストを表示するには、メニューボタン、**3**、**1**、**2**と押します。

選択時に、デモ音が 2 秒づつ流れます。

設定は自動的に保存されますが、電話機を再起動させたときは、初期設定（着信音 1）に戻りますので、設定し直してください。



着信音のリストを表示する



好みの着信音まで
移動する



決定する



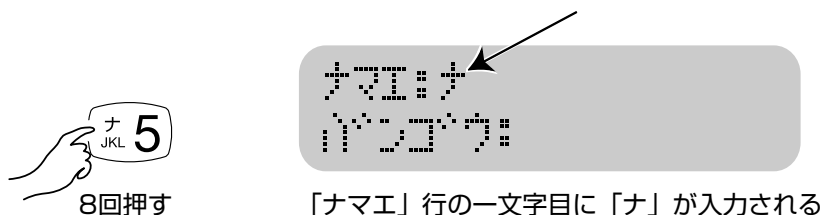
着信音 12、着信音 13 および着信音 12、着信音 13 を選択するとき流れるデモ音は、着信音 1～11 および着信音 1～11 を選択するとき流れるデモ音に比べて、ボリュームが大きくなっています。着信音 12、着信音 13 をご使用になる場合は、設定後、着信音量調整で音量を下げたからご使用になってください。

11. 電話帳を使う

入力機能を使う

電話帳やワンタッチダイヤルボタンに名前と電話番号を登録するには、入力機能を使います。本製品の入力機能の規則を説明します。


1. 文字や数字を入力するには、ダイヤルボタンを使用します。
2. カタカナで名前を入力したいときは、左上に入力したいカタカナの行頭文字が書かれたボタンを押します。
(例) カタカナの「ナ」を入力する



3. 必要な文字が表示するまで、ボタンを1秒以内に押し続けて循環させます。



文字の循環の規則は、32～33ページ、「13. ダイヤルボタンの入力規則」内の表を参照してください。

4. ボタンを押してから2秒以上経過すると、文字が確定して自動的に右隣へカーソルが移動します。
5. 確定済みの文字の入力間違いを訂正するには、クリアボタンを使用します。クリアボタンを押すと、カーソルは選択している文字を1文字削除して左隣に移動します。
6. 電話番号入力行に移動するときは、 (下移動ボタン) を押します。
大 4
7. 数字を入力するには、入力したい数字のダイヤルボタンを押します。



入力できる文字数は1行目、2行目それぞれ15文字です。

11. 電話帳を使う


電話帳に登録する(最大20件)

1. 待受画面でメニューボタン、**1**、**3**を押すと新規登録画面が表示されます。



ハイ:
アイエ:

2. 入力画面に名前と電話番号を入力します。
3. 選択ボタンを押すと確認画面が出ます。



リセット
かごこ 1.ハイ 2.アイエ

- 続けて電話帳登録をするときは、**2**を押して「アイエ」を選択します。再度入力画面がでますので、「**2**」の操作を繰り返します。
 - 電話帳登録を完了するには、確認画面で**1**を押して、「ハイ」を選択します。
4. 電話機が再起動し、設定が保存されます。



電話機が再起動すると、不在着信履歴、着信履歴、発信履歴の記録、着信音設定がリセットされます。



前画面に戻るときはメニューボタンを押します。

電話帳に登録した番号を削除する


1. 待受画面でメニューボタン、**[1]**、**[4]**、**[1]**を押すと削除する名前を入力する画面が表示されます。



サウジョ
ナマエ: ■

2. 入力画面に削除したい記録の名前を入力します。

3. 選択ボタンを押すと確認画面が出ますので、**[1]**を押します。



サウジョ
カニン 1.04 2.44

4. 電話機が再起動し、指定した記録が削除されます。

電話帳に登録した番号をすべて削除する

1. 待受画面でメニューボタン、**[1]**、**[4]**、**[2]**を押すと、登録をすべて削除するか確認する画面が表示されます



スベテサウジョ
カニン 1.04 2.44

2. **[1]**を押すと、電話機が再起動し、記録がすべて削除されます。

12. ワンタッチダイヤルボタンを使う


ワンタッチダイヤルボタンに登録する(M1～M10)

1. 待受画面で選択ボタンを押します。
2. M1～M10の中の未登録のボタンを1つ押すと、新規登録画面が表示されます。




名前:
電話番号:

3. 入力画面に名前と電話番号を入力します。


 入力方法は、27ページ、「11.電話帳を使う」を参照してください。

4. 選択ボタンを押すと確認画面が出ますので、を押します。



名前
加二 1.NN 2.II

5. 電話機が再起動し、設定が保存されます。

 電話機が再起動すると、不在着信履歴、着信履歴、発信履歴の記録、着信音設定がリセットされます。

ワンタッチダイヤルボタンに登録した番号を削除する

1. 待受画面でクリアボタンを押すと、下記画面が表示されます。



ワンタッチダイヤル 登録済
M1-M10

2. M1～M10の中での削除したい記録のボタンを押すと、確認画面が出ます。



登録済
削除 1.M 2.いい

3. を押すと、電話機が再起動し、指定した記録が削除されます。

13. ダイヤルボタンの入力規則

登録画面の1行目に入力する

電話帳やワンタッチダイヤルボタンに新規登録するとき、1行目に名前を入力します。
1行目には、カタカナ、アルファベット、数字、記号が入力できます。

ダイヤルボタンを1秒以内に押し続けると、下記の表にしたがって文字が循環します。
ダイヤルボタンを押してから2秒以上経過すると、文字が確定して自動的に右隣へカーソルが移動します。

1行に入力できる文字数は15文字です。

ダイヤルボタン	1回 押す	2回 押す	3回 押す	4回 押す	5回 押す	6回 押す	7回 押す
ボタン[1]	1	@	ア	イ	ウ	エ	オ
ボタン[2]	A	B	C	a	b	c	2
ボタン[3]	D	E	F	d	e	f	3
ボタン[4]	G	H	I	g	h	i	4
ボタン[5]	J	K	L	j	k	l	5
ボタン[6]	M	N	O	m	n	o	6
ボタン[7]	P	Q	R	S	p	q	r
ボタン[8]	T	U	V	t	u	v	8
ボタン[9]	W	X	Y	Z	w	x	y
ボタン[*]	*	.	^	°			
ボタン[0]	スペース	0	ワ	ウ	ソ	-	
ボタン[#]	#						

ダイヤルボタン	8回 押す	9回 押す	10回 押す	11回 押す	12回 押す	13回 押す	14回 押す
ボタン[1]	ア	イ	ウ	エ	オ		
ボタン[2]	カ	キ	ク	ケ	コ		
ボタン[3]	サ	シ	ス	セ	ソ		
ボタン[4]	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	
ボタン[5]	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ		
ボタン[6]	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ		
ボタン[7]	s	7	マ	ミ	ム	メ	モ
ボタン[8]	ヤ	1	ヨ	ヤ	ユ	ヨ	
ボタン[9]	z	9	ラ	リ	ル	レ	ロ
ボタン[*]							
ボタン[0]							
ボタン[#]							

登録画面の2行目に入力する

電話帳やワンタッチダイヤルボタンに新規登録するとき、2行目に電話番号を入力します。2行目には、ダイヤルボタンを押して数字を入力します。

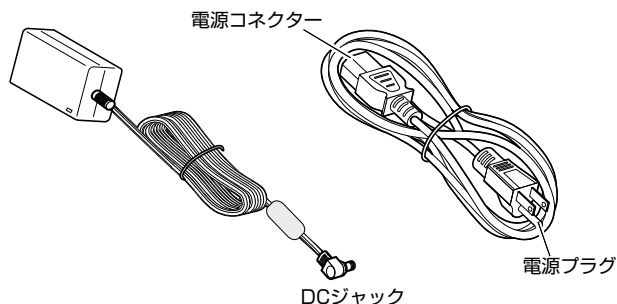
表示言語が英語の場合

本製品の表示言語を英語に変更した場合は、下記入力規則で文字が循環します。本製品の表示言語の初期設定は日本語です。

ダイヤルボタン	1回押す	2回押す	3回押す	4回押す	5回押す
ボタン[1]	1	@			
ボタン[2]	A	B	C	a	b
ボタン[3]	D	E	F	d	e
ボタン[4]	G	H	I	g	h
ボタン[5]	J	K	L	j	k
ボタン[6]	M	N	O	m	n
ボタン[7]	P	Q	R	S	p
ボタン[8]	T	U	V	t	u
ボタン[9]	W	X	Y	Z	w
ボタン[*]	*	.			
ボタン[0]	スペース	0			
ボタン[#]	#				
ダイヤルボタン	6回押す	7回押す	8回押す	9回押す	
ボタン[1]					
ボタン[2]	c	2			
ボタン[3]	f	3			
ボタン[4]	i	4			
ボタン[5]	l	5			
ボタン[6]	o	6			
ボタン[7]	q	r	s	7	
ボタン[8]	v	8			
ボタン[9]	x	y	z	9	
ボタン[*]					
ボタン[0]					
ボタン[#]					

14.ACアダプター（別売）を使う

オプション製品として、ACアダプター「AT-PWR01-ADP」をご用意しています。CP100TXを接続するイーサネットポートが、IEEE802.3af 準拠 Power Over Ethernetに対応していない場合に使用します、AT-PWR01-ADPを使用した接続方法を説明します。



オプション(別売)ACアダプター AT-PWR01-ADP

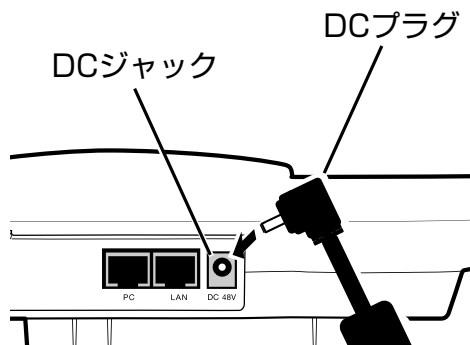
1. CP100TXの背面にあるLANポートと、イーサネットポートをUTPケーブルで接続します。



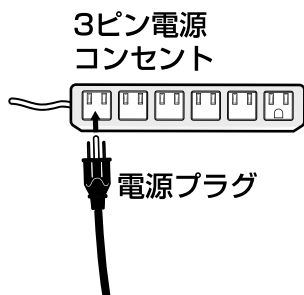
UTPケーブルの接続方法は、19ページ、「6.UTPケーブルを接続する」を参照してください。

2. AT-PWR01-ADPを電源コネクタ部分でつないでおきます。

3. CP100TXの背面にあるDCジャックにAT-PWR01-ADPのDCプラグを接続します。



4. 3ピン電源コンセントにAT-PWR01-ADPの電源プラグを接続します。



AT-PWR01-ADPはCP100TX専用のACアダプターです。
他の電気機器ではご使用になれませんのでご注意ください。



AT-PWR01-ADPに付属の電源ケーブルはAC100V用です。
AC200Vでご使用の場合は、設置業者にご相談ください。
不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。



CP100TX本体に電源を切断するスイッチはありません。電源を切断するためには、電源コンセントから電源プラグを抜く必要があります。
また電源プラグを電源コンセントに接続したまま、電源コネクタを抜かないでください。



電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

15.仕様

準拠規格	
IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX、 IEEE802.3af Power over Ethernet	
適合規格	
EMI 規格	VCCI クラス B
安全規格	UL60590-1,CSA C22.2 Mo.60950-1
液晶ディスプレイ	
16 桁× 2 行、アルファベット / 数字 / カタカナ / 記号	
LED	
着信	(橙) 着信時に点滅
スピーカー	(緑) スピーカー機能オン時点灯
ミュート	(赤) 消音機能オン時点灯
ポート	
LAN ポート	10BASE-T/100BASE-TX × 1 (PoE 受電対応、オートネゴシエーション、 MDI/MDI-X 自動切替)
PC ポート	10BASE-T/100BASE-TX × 1 (オートネゴシエーション、 MDI/MDI-X 自動切替)
ボタン	
ダイヤルボタン (0 ~ 9、*、#)、スピーカーボタン、ミュートボタン、 リダイヤルボタン、転送ボタン、保留ボタン、ワンタッチダイヤルボタン (10 件)、メニューボタン、上移動 / 音量調節 (小) ボタン、下移動 / 音 量調節 (大) ボタン、選択ボタン、クリアボタン	
使用ケーブル	
10BASE-T	UTP カテゴリー 3 以上
100BASE-TX	UTP カテゴリー 5 以上
VoIP 機能	
呼制御プロトコル	SIP(RFC3261)
音声コーデック	G.711 μ -law/a-law
その他の機能	ジッター吸収バッファ、エコーキャンセラー、 DTMF リレー (RFC2833、Pass Through)、 ダイジェスト認証、VoIP FDP 機能 (100 件)* ¹
ネットワーク機能	
DHCP クライアント、DNS クライアント、NTP クライアント FTP クライアント	

電話機能	
保留 / 復帰、転送機能、リダイヤル、消音、スピーカーフォン機能、コールウェイトイング、ワンタッチダイヤル (最大 10 件)、電話帳発信 (最大 20 件)、発信履歴発信 (発信 / 着信 / 不在着信 各最大 8 件)、着信番号表示、着信音選択 (13 種類)、通話時間表示	
電源部 (PoE 受電時)	
IEEE802.3af 準拠 (クラス 1)	
電源部 (AC アダプター使用時)	
定格入力電圧	AC100-240V*2
入力電圧範囲	AC90-264V
定格周波数	50 ~ 60Hz
定格入力電流	0.6 A
最大入力電流 (実測値)	0.11 A
平均消費電力	4.2W (最大 7.5W)
平均発熱量	15kJ/h (最大 27kJ/h)
環境条件	
動作時温度	0 ~ 40℃
動作時湿度	80%以下 (結露なきこと)
保管時温度	-20 ~ 60℃
保管時湿度	95%以下 (結露なきこと)
外形寸法 (突起物含まず)	
CP100TX	171(W) × 218(D) × 58(H) mm
AC アダプター	50(W) × 95(D) × 36(H) mm
質量	
CP100TX	800g (受話器コード含まず)
AC アダプター	140g (ケーブル含まず)

*1 VoIP FDB 機能を使用する場合、保留音が鳴りません。

*2 AC アダプター AT-PWR01-ADP はオプション (別売) です。付属の電源ケーブルは AC100V 用です。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

問い合わせ先

故障、通信上のトラブルが発生した場合は、設置業者にお問い合わせ下さい。

ご注意

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。

アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。

また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2005 アライドテレシスホールディングス株式会社

商標について

CentreCOM はアライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

電波障害自主規制について


この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

日本国外での使用について

弊社製品を日本国外へ持ち出されるお客様は下記窓口へご相談ください。

 0120-860442（祝祭日を除く月～金 / 9：00～17：30）

マニュアルバージョン

2005年	4月	Rev.A	初版
2005年	9月	Rev.B	第2版 誤記訂正



アライドテレシス株式会社